

分野	中期 計画 No.	指標 No.	指標区分			困難 度	指標	指標の説明 （定性指標の場合は進捗計画を記入）	基準値	現状値 (R5)	目標値	○年度の取組状況 特記事項	数値目標 達成状況	運営費 交付金費目	費目別 No.	判定	判定 特記事項	数値 化	費目別 平均値	総合 判定案	交付金 増減率
教育		1	新	定性			人材育成の検証	R7年度：ディプロマ・ポリシーに示された育成人材を踏まえた入試が実施され、カリキュラムが運用されているかどうかを、分野や学部・研究科に分けて、教学IR委員会で検証する。 R8年度：R7年度で検証されなかった分野や学部・研究科について、教学IR委員会で検証する。 R9年度：検証結果を報告書にまとめ、教育研究審議会に提出する。						教育研究費 (学生)							
教育		3	1	定量	成果	困難	志願倍率	該当年度内に実施した学部一般選抜（前期・後期）	5.5倍／R4年度の場合	5.0倍	過去3年平均以上／毎年度	←困難指標を希望		教育研究費 (学生)		1					
教育		4	2	定量	成果	困難	大学院における入学定員の充足状況	入学者数／入学定員	90% ／第2期平均	80%	100% ／毎年度			教育研究費 (学生)		2					
教育		9	新	定量	活動		アクティブラーニング授業の実施割合	アクティブラーニング（学生の能動的な活動）を取り入れた授業の割合／全科目	56.4% ／R6	56.4%	R7：60%、R8：65%、R9：70%			教育研究費 (学生)		3					
教育		10	新	定量	活動		LMS（SUAC manaba）の利用率	全授業科目におけるLMS（SUAC manaba）の利用率	32.7% ／R6	32.7%	R7：40%、R8：50%、R9：60%			教育研究費 (学生)		4					
教育		12-1	新	定性			新カリキュラム	○両学部共通 R7年度：1年生への新カリキュラムの提供を開始。1年次配当科目について授業アンケート等により評価する。 R8年度：新カリキュラムを年次進行により2年生まで提供。全学科目区分のカリキュラムの妥当性について評価する。 R9年度：各学科において、必修科目、選択科目、教養科目、専門科目などのバランスを考慮した履修モデルの作成完了						教育研究費 (学生)							
教育		12-2	新	定性			新カリキュラム	○文化政策学部 R7年度：新カリキュラムが適用される新入学生に対して、ガイダンス等においてオプション・スタディーズの周知を行う。 R8年度：各学科ごとにオプション・スタディーズに関するガイダンス及び履修指導を実施し、2年次後期に履修受付を行う。 R9年度：オプション・スタディーズの開講。また、履修状況や履修生の動向について確認・検証を行う。						教育研究費 (学生)							
教育		12-3	新	定性			新カリキュラム	○デザイン学部 R7年度：専門横断演習について、授業計画及び評価方法をワーキンググループで検討 R8年度：専門横断演習について、ワーキンググループと担当教員でテーマを決定し、授業計画を策定 R9年度：専門横断演習の開講、授業成果の学内外への発表を通じて、授業到達目標を検証する。						教育研究費 (学生)							
教育		15	新	定性			修士課程見直し	R7年度：修了生の卒業後の活動状況について確認、情報収集を行う。 R8年度：R7年度の調査結果をもとに修士課程のカリキュラム、授業実施内容の見直し。 R9年度：R8年度の活動内容を踏まえ、第4期中期計画期間における研究科の在り方について学内協議及び同計画案の策定。						教育研究費 (学生)							±0%
教育		24	3	定量	活動		F D 研修参加率	FD研修（各学科及び全学）の参加者数／全教員数	72.6%／過去5年平均（H28～R2）	81%	75%以上／毎年度			教育研究費 (学生)		5					
教育		27	4	定量	成果		英語の学修成果	在籍期間中のTOEICスコア800点以上を取得する学生数	25人／過去5年平均（H28～R2）	40人	26人／毎年度			教育研究費 (学生)		6					
教育		27	5	定量	成果		英語の学修成果	在籍期間中のTOEICスコア700点以上を取得する学生数	63人／過去5年平均（H28～R2）	80人	64人／毎年度			教育研究費 (学生)		7					
教育		27	6	定量	成果		英語の学修成果	在籍期間中のTOEICスコア600点以上を取得する学生数	166人／過去5年平均（H28～R2）	220人	167人／毎年度			教育研究費 (学生)		8					
教育		27	7	定量	成果		中国語の学修習成果	年度ごとのHSK3級以上を取得する学生数	41人／第2期平均	64人	42人／毎年度			教育研究費 (学生)		9					
教育		29	新	定性			遠州学林構想	R7年度：地域連携センター、文化・芸術研究センター、国際交流センターの事業及び機能の有機的な連携・協働の検証 R8年度：上記3センターの機能統合に向けた課題検討、グローバルデザイン研究所（仮称）への移行に向けた課題検討 R9年度：グローバルデザイン研究所（仮称）移行に向けた計画策定						教育研究費 (学生)							
教育		33	新	定量	活動		学生生活実態調査	学生生活実態調査／毎年度実施	1回／R5	1回	1回 ／毎年度			教育研究費 (学生)		10					
教育		41	8	定量	活動		大学主催の就職支援事業の参加人数	3年生全員を対象とするガイダンス参加率	43.4% ／第2期平均	27.2%	45% ／毎年度			教育研究費 (学生)		11					
教育		41	9	定量	成果	困難	就職率	就職した学生／就職を希望する学生（学部） ※ただし、第2期平均値96.3%以上であれば「概ね達成」とする	96.3% ／第2期平均	96.2%	100% ／毎年度			教育研究費 (学生)		12					
グローバル化		35	10	定量	活動		受入留学生ガイダンス	全留学生を対象とするガイダンス開催回数	5回 ／R3年度	6回	6回 ／毎年度			教育研究費 (学生)		1					
グローバル化		63	新	定性			国際交流センター取組	○国際交流センターを中心とした、全学的なグローバル教育の推進 R7年度：留学から帰国した本学学生と海外からの留学生の交流活動を各学期に実施する。地域の特性を生かしたグローバル教育を推進するため、国際交流センターと地域連携センター等の協働事業案を策定する。 R8年度：R7年度に活動に加え、複数のセンターが協働し、グローバル教育を推進する事業を実施する。 R9年度：R8年度に実施した事業の結果を検証したうえで、第4期中期計画を見据えた全学的なグローバル教育推進体制を整備する。						教育研究費 (学生)							
グローバル化		66	11	定量	成果	困難	留学生等受入人数	正規留学生、研究生、交換留学生の人数 ※ただし、第2期平均値以上であれば「概ね達成」とする	36人 ／第2期平均	39人	40人以上 ／毎年度			教育研究費 (学生)		2					
グローバル化		66	12	定量	成果		海外派遣学生数	長期留学（1学期以上）：協定校派遣	22人／コロナ前4年平均（H28～R1）	44人	22人 ／毎年度			教育研究費 (学生)		3					
グローバル化		66	13	定量	成果		海外派遣学生数	短期留学（1学期未満）：語学留学等（オンライン語学研修含む）	36人／第2期平均（オンライン含む）	53人	50人 ／毎年度			教育研究費 (学生)		4					
グローバル化		67	14	定量	成果	困難	海外の教育研究機関等との共同事業の実施	海外の教育研究機関等と連携して実施する共同プログラム、共同研究等	12件 ／第2期累計	4件	20件 ／第3期累計			教育研究費 (学生)		5	毎年度3.3件以上				
研究		44	15	定量	活動		論文数、研究作品数（機関リポジトリ登録数）	静岡文化芸術大学学術リポジトリに登録された教育及び学術研究成果の件数	52件 ／R4年度の場合	63件	対前年増 ／毎年度30%以上			教育研究費 (教員)		1					
研究		48	16	定量	活動		科研費の申請率	科研費に応募した教員数／全教員数（代表課題保有教員除く）	23.8% ／第2期平均	26.6%	50%以上 ／第3期最終年度			教育研究費 (教員)		2					
研究		48	17	定量	成果		外部資金（科研費等）の獲得件数	科研費、国補助金等、財団等助成金（研究奨励寄付金等）の獲得件数	54件 ／R4年度の場合	61件	過去3年平均以上 ／毎年度			教育研究費 (教員)		3					

R6.10月時点

分野	中期 計画 No.	指標 No.	指標区分		困難 度	指標	指標の説明 （定性指標の場合は進捗計画を記入）	基準値	現状値 （R5）	目標値	○年度の取組状況 特記事項	数値目標 達成状況	運営費 交付金費目	費目別 No.	判 定	判定 特記事項	数値 化	費目別 平均値	総合 判定案	交付金 増減率
研究	48	18	定量	成果	困難	外部資金（科研費等）の獲得金額	科研費、国補助金等、財団等助成金（研究奨励寄付金等）の獲得金額	32,609千円／R4年度の場合	47,772千円	過去3年平均以上／毎年度			教育研究費（教員）	4						28
研究	49	新	定量	成果		研究成果の発信	研究成果発表会（オンライン含む）の閲覧者数／過去3年平均以上	132件／R3～R5平均	113名	過去3年平均以上／毎年度			教育研究費（教員）	5						29
研究	49	新	定量	活動		研究成果の評価	教員特別研究報告書に対する、審査委員や関連分野の教員によるフィードバック率100％／毎年	100％／R5	100％	100％／毎年度			教育研究費（教員）	6						30
地域貢献	41	19	定量	成果		県内就職率	県内の企業等に就職した学生／就職した学生（学部）	38.1％／R4年度の場合	33.7％	過去3年平均以上／毎年度			教育研究費（教員）	1						31
地域貢献	43	20	定量	成果		社会人学生数	①学部：特別選抜（社会人）により入学した者の数。 ②大学院：入学者のうち、職に就いている者（給料、賞金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている者）の数。ただし、企業等を退職した者、及び主婦なども含む。 ③科目等履修生のうち、他の大学等の学生でない者	3人以上／R4年度の場合	3人	過去3年平均以上／毎年度			教育研究費（教員）	2					±0%	32
地域貢献	46	21	定量	成果		受託事業、受託研究、共同研究の受入件数	自治体や企業等からの受託事業、共同研究、受託研究の受入件数	15件／R4年度の場合	15件	過去3年平均以上／毎年度			教育研究費（教員）	3						33
地域貢献	54	22	定量	成果		市民対象イベントの参加者数	主催者として一般市民向けに開催する公開講座、特別公開講座、公開工房、イベントシンポジウム、文芸セミナー、研究成果発表会等	3,900人／R4年度の場合	4,066人	過去3年平均以上／毎年度			教育研究費（教員）	4						34
地域貢献	55	23	定量	活動		地域連携演習等取組者数（登録者数）	実践演習のうち「地域連携演習」及び「自主課題演習」の取組者数（登録者数）	195人／第2期平均	310人	第2期平均以上／毎年度			教育研究費（教員）	5						35
地域貢献	58	新	定量	成果		自治体の委員等への就任件数	自治体等の委員、講師、審査員等への就任件数	369件／R2～R4平均	455件	過去3年平均以上			教育研究費（教員）	6						36
地域貢献	59	新	定量	成果		静岡県の各種事業への協力	静岡県の各種事業への協力件数	75件／R3～R5	78件	過去3年平均以上			教育研究費（教員）	7						37
地域貢献	61	新	定量	活動		単位互換授業への参画	ふじのくに地域・大学コンソーシアムが実施する単位互換授業への参画	2科目／R6年度	2科目	毎年度2科目以上			教育研究費（教員）	8						38
地域貢献	62	新	定量	活動		多文化イベント	国際交流センターを中心とした、共生社会の実現につながる、学内外に開かれた交流事業：年2回以上実施	2回／R5年度の場合	2回	2回以上／毎年度			教育研究費（教員）	9						39
法人経営その他	68	新	定量	活動		学外委員からの意見	役員会・経営審議会において、学外委員から出た法人経営に関する意見への対応または回答する率／100％	1回／R5年度の場合	1回	1回以上／毎年度			管理運営費	1						40
法人経営その他	73	24	定量	活動		育児休業等取得	育児休業等を取得した職員／育児休業等の取得要件に新規に該当する職員（出産した本人を除く）	50％／第2期平均	100％	60％以上／毎年度			管理運営費	2						41
法人経営その他	73	25	定量	活動		育児休業以外の育児に関する諸制度の利用者	育児休業以外の育児に関する諸制度（育児短時間勤務、育児部分休業、母性健康管理休暇、子育て休暇、配偶者出産休暇、育児休暇、育児時間、家族休暇・看護休暇（育児に関する部分のみ）含む）の利用者数	36人／第2期累計	12人	30人以上／第3期累計			管理運営費	3	毎年度5人以上					42
法人経営その他	73	26	定量	活動		職員の有給休暇取得日数	事務局職員の有給休暇取得日数	10.7日／R2年度	12.93日	10日以上／毎年度			管理運営費	4						43
法人経営その他	74	27	定量	成果		時間外勤務時間数（総時間数）	事務局職員の時間外勤務時間数	13,064時間／R4年度の場合	13,825時間	対前年減／毎年度			管理運営費	5						44
法人経営その他	76	新	定量	活動		コンプライアンス研修	教職員向けのコンプライアンス研修受講率100％／毎年度	70％／R3	66％	100％／毎年度			管理運営費	6						45
法人経営その他	79	新	定量	成果		寄附額	静岡文化芸術大学基金の寄付額	2,776千円／R4年度の場合	2,104千円	対前年増／毎年度			管理運営費	7						46
法人経営その他	80	28	定量	成果		管理的経費の効率化状況	一般管理費（義務的経費除く）の削減額	203,524千円以下／第2期平均	206,904千円	第2期平均以下／毎年度	R5も引き続き世界的な原油高の影響等により、光熱水費が急騰したため、目標値は未達成となったが、水道高熱水費を除くR5の一般管理費は第2期平均値以下となった。		管理運営費	8						47
法人経営その他	81	新	定性			施設整備計画	○第3期中期計画中の施設整備更新計画の確実な執行 R7年度：照明設備（LED）更新、個別空調更新 R8年度：照明設備（LED）更新、個別空調更新、劣化診断の実施 R9年度：照明設備（LED）更新、個別空調更新、劣化診断を元に次期更新計画を策定						管理運営費							48
法人経営その他	83	新	定性			外部評価結果の対応	R7年度：令和4年受審の認証評価結果における意見への対応（100％実施） R8年度：自己点検評価委員会にて、R10年度の認証評価受審のための点検ポートフォリオ作成計画策定 R9年度：R10年度の認証評価のための点検ポートフォリオ作成、学内決定 R7～9年度共通： （年度計画策定・年度評価廃止に伴い）自己点検評価委員会において、外部委員とともに中期計画の進捗及び評価指標達成状況の確認を行う。						管理運営費						±0%	49
法人経営その他	84	新	定性			情報公開	「SUAC理解・基礎データ集」について毎年更新を行い、大学HPへの掲載を行う。						管理運営費							50
法人経営その他	85	新	定量	活動		プレスリリース件数	プレスリリースの件数	30件／R3～R5の平均	25件	33件／毎年度			管理運営費	9						51
法人経営その他	85	新	定量	活動		公式SNSポスト投稿件数	公式SNS（X）のポスト投稿件数 300件以上／毎年度	316件／R3～R5の平均	213件	300件以上／毎年度			管理運営費	10						52
法人経営その他	86	新	定量	活動		安全衛生管理	教職員健康診断後の特定保健指導受診率／対象者の50％以上	27.5％／R4全国平均	実績無し	50％			管理運営費	11						53
法人経営その他	87	新	定量	活動		安全衛生管理	工房機械講習会の実施 2回／毎年度	2回／R5	2回	2回／毎年度			管理運営費	12						54
法人経営その他	88	新	定量	活動		危機管理体制	防災訓練の実施 1回／毎年度	1回／R5	1回	1回／毎年度			管理運営費	13						55
法人経営その他	88	新	定量	活動		危機管理体制	多様なテーマに関する教職員や学生向けの啓発動画の作成・発信／毎年度 新規動画 1本以上	1本／R5	1本	R5			管理運営費	14						56
法人経営その他	90	新	定性			情報セキュリティ対策	○情報セキュリティ対策強化のための学内に向けた安全管理教育の推進 R7年度：R7年度から導入される学生デバイス必携化及び職員業務用パソコンのノート化に合わせ、パスワード管理や個人情報保護など、情報セキュリティの基本概念に関する研修を行う。 R8年度：R7年度の活動に加え、フィッシングやマルウェア等の基本的な脅威と対策について研修及びキャンペーンを実施する。 R9年度：R7、R8年度に実施した研修等の成果を検証した上で、本学の情報セキュリティ対策強化のための安全管理教育プログラムを作成する。						管理運営費							57
法人経営その他	91	新	定量	成果		ハラスメント発生件数ゼロ	ハラスメント事案発生件数をゼロにする	0件／R5の場合	0件	0件／毎年度			管理運営費	15						58
法人経営その他	91	新	定量	活動		ハラスメント研修会の開催	教職員対象ハラスメント研修会の毎年開催	1回／R5年度の場合	1回	1回以上／毎年度			管理運営費	16						59
法人経営その他	92	新	定量	成果		SDG s 取組発信件数	学外への本学のフェアトレード大学やSDG sへの取組の発信件数	6件／R4年度	6件	過去3年平均以上／毎年度			管理運営費	17						60

※指標が未達成の場合は、その理由を特記事項に記載すること

現行	定量		
	成果	活動	合計
教育	7	2	9
グローバル化	4	1	5
研究	2	2	4
地域貢献	4	1	5
法人経営その他	2	3	5
計	19	9	28

変更案	定量			定性	合計
	成果	活動	小計		
教育	7	5	12	6	18
グローバル化	4	1	5	1	6
研究	3	3	6	0	6
地域貢献	6	3	9	0	9
法人経営その他	5	12	17	4	21
計	25	24	49	11	60